

2020

9
月号

県民の森 だより



宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料 : 無料

利用時間 : 4月~10月 / 9時~16時30分

11月~3月 / 9時~16時

HPはこちら!

長かった猛暑もようやく終わり、過ごしやすい毎日となりました。

数少ない秋の花々が深緑の遊歩道の足元を照らし、気の早い木々は色付き始め、昆虫達が元気に活動しています。涼しくなった森の中でフィトンチッドを沢山浴びながらの散策をお勧めいたします。(所長:蜂谷仁)

『みんなで育てよう 海岸防災林』

中央記念館にて東日本大震災で被災した「海岸防災林」についてのパネル展示を6日まで行っています。宮城県森林インストラクター協会は「宮城海岸防災林パートナーシップ事業」として海岸林の再生に取り組んでいます。

海岸防災林とはどんなものか、これまでの取り組みや復興の現状等をあわせてパネルで勉強できます。パネルの他に実際の苗木や、育樹の際の天敵ニセアカシアなどの实物展示も行っております。

ぜひ、お立ち寄りください。

土日には『ぶんぶんごま』や『名札づくり』のネイチャークラフトも行います。



『トンボ展示会』 勝ち虫ファミリー

9月7~30日まで
トンボの標本展示会を行います。さまざまな
トンボと会うことができます。ご来館をお待ち
しております!



■野鳥クラブよりお知らせ■

9~11月に予定しておりましたクラフトは都合により中止とさせていただきます。
次回の鳥の観察会は12月20日となります。

木のちょっときーになる話

~ vol11. ハギ(萩) ~

凛として澄み切った青空の下、ハギの鮮やかな緑とどこか控えめな風情を持った紫の花は、日本の秋を彩る植物の代表格と言ってよいでしょう。ハギはマメ科ハギ属の総称で落葉低木です。日本に自生していたものは、ヤマハギ・ネコハギ・ケハギなどおよそ8種類と言われています。宮城県の花のミヤギノハギはケハギの園芸種ですが、野生化し日本各地に見られるようになりました。

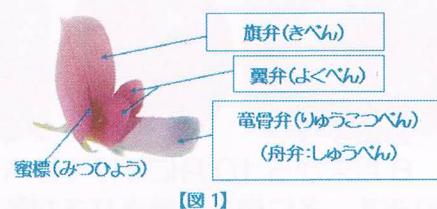
枝や葉は家畜の飼料や屋根葺きの材料に、葉を落とした枝を束ねて箒に、根を煎じて、めまいやのぼせの薬にするなど、古来日本人の生活に溶け込んでいた植物でした。奈良時代の歌人山上憶良が詠った「秋の七草」では、ハギはトップに登場します。また、万葉集では141首詠われていて、2位の梅110首

を抜いて断トツのトップです。

小さく可憐な花をよく見ると、ちょっと特徴的な形をしています。これは「蝶形花冠」と呼ばれるマメ科植物

に共通する花の特徴です【図1】。植物は受粉を手助けしてもらうための虫を呼び寄せるために花を付けますが(虫媒花の場合)、虫媒花であるハギの花には一見、雄しべ・雌しべが見当たりません。雄しべ・雌しべはいったい何処に・・・!?

実は、竜骨弁の中に格納されています。花を訪れた昆虫は旗弁のガイドマーク(蜜標)を目印にして旗弁



の根元に頭を潜り込ませます。その時に脚に力が入って翼弁と竜骨弁を押し下げると、竜骨弁が左右に開き、雄しべ・雌しべが外側に出てきて昆虫の身体に触れる、という仕組みなのです。こんな小さな花がどうしてこんな知恵(?)を身につけたのか不思議です。

ハギの語源は、毎年古い株から新しい芽を出すことから「はえき(生え芽)」が転訛(てんか)したとする説が一般的ですが、植物学者の湯浅浩史氏は枝を箒に使ったことから「掃き」の転訛とする説をとっています。漢字の「萩」は、秋の草花の代表であることから「秋」に草冠を付けた国字です。(片岡)



今月の

スタッフが見つけたしせんのひとコマ けんみんのもり写真館



**イシミカワ（タデ科）
石実皮 石見川 石膠**

名前は諸説あり、秋の青黒い実は、外はがくで、中の黒いのが実。石の様な実に皮がついていることからイシミカワの説が分かりやすい。一見ママコノシリヌグイと見間違いつつですが、葉と果実の違いがあります。

花期 7～10月

（駒野）

アキノウナギツカミ（タデ科）

秋の鰐攫

別名アキノウナギツル

名前は茎に下向きの短い刺があり、これでウナギでもつかめるという意味から名付けられました。手で触ると鋭い刺がびっしりと生えています。葉が細く茎を抱いているのが特徴です。

花期 6～9月 （駒野）



アキノキリンソウ（キク科）

秋の麒麟草

別名アワダチソウ

名前はベンケイソウ科のキリンソウに花が似ているから。秋咲きなので“アキノ”とつけました。

別名は酒の醸酵する泡にたとえたものです。黄金色に咲く花は秋を代表しています。同属には帰化植物のセイタカアワダチソウがあります。

花期 8～11月

（駒野）



ミヤマクワガタ



虫ゼリー
で、おち
てなし

かまれると
めちゃんこ
いたいです！

**キンイロ
アブ**



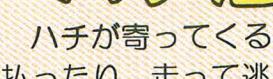
ヤブキリ



アゲハモドキ



ウスキツバメエダシャク



キンモンガ



虫取り少年たちの夏

外作業のおじさまたちが少年の顔をして事務室に駆け込んでいます。まっすぐに本棚に駆け寄り、昆虫図鑑を取り出して大騒ぎの後「ミヤマクワガタのメスだね！」と確認後、即、作業に戻ります。事務所ではよくある風景です。ゴマダラカミキリ



**ヨツスジハナ
カミキリ**



ノコギリカミキリ

8月末から10月にかけてはハチの季節となります。冬に備えて働きバチが多くなるのです。特にスズメバチの巣は危険です。すでに通報が2件ありました。発見したら、すぐに事務所までご連絡ください！『県民の森 Bee バスターズ』が出動します！

『県民の森 Bee バスターズ』、今年初めての作業からバタバタと帰還して再び、まっすぐに昆虫図鑑へ・・・「おしり、黒かったですよね？」「去年のとは違いますよねえ」「こいつですかね？」「ちょっと、ちがうなあ？」「一匹持ってくれればよかったね？」話の流れにぎょっとする私に「あ！死体だよ、もう、駆除したから！」

大きくなった虫取り少年にはクワガタもスズメバチも一緒なのね・・・

*イベントのスケジュールは別紙となりました。

「カブトムシはどこで取れるんですか？」という質問をたくさんいただきました。昔、虫取り少年たちはカブトムシがやってくる『秘密の木』を知っていました。今は昔のように子どもたちだけで歩いて樹液の出る『秘密の木』に行けるところは限られています。そして、カブトムシは夜行性です。昼は草むらで隠れています。

どうしたら捕まえられるのでしょうか？みんなで一緒に研究してください！『秘密の木』はそんなに簡単には手に入らないんです！そして、カブトムシと会えなくてもこんなにたくさんの虫たちと会えるんです！

がんばれ！虫取り少年たち！

ハチ注意報発令

ハチが寄ってくると、恐怖から悲鳴を上げたり、手で払ったり、走って逃げたりしてしまいますが、それは逆効果です。頭を隠して低い姿勢を取り、じっと動かさずハチが去るのを待ってゆっくりとその場を離れましょう。

巣を刺激したりして大群に襲われた場合は、タオルなどで振り払いながら必死で逃げましょう！